学校だより
せんだん
日田市立高瀬小学校
第１９号
令和８(2026)年 10 月 23 日
文責：校長　山口　健
高瀬小ＨＰ
学校教育目標　よりよい答えを求めて、ともに学び続ける高瀬っ子を育てる

思いをつなぎ次へ進む 10 月

10月は、運動会をはじめ、仲間と力を合わせながら、よりよいものをつくろうとする子どもたちの姿が多く見られました。一方、楽しみにしていた高瀬三世代ふるさと祭りは、台風の接近に伴い中止となりました。予定どおりにはいかないこともある中で、人の思いやこれまでの取組に目を向け、次へつないでいくことの大切さを感じる月となりました。

「もっと」がつくった運動会

10月10日、令和8年度秋季大運動会を実施しました。

今年度、本校では「真実」を大切にしています。本校でいう「真実」とは、一つの答えを見つけて終わることではなく、いろいろな見方をしながら、よりよい答えを求め続けることです。

運動会の練習が始まってから、子どもたちの口から「もっと」という言葉をよく聞くようになりました。

「もっと大きな声を出そう。」
「もっと腕を伸ばそう。」
「もっと腰を落とそう。」

できたことに満足して終わるのではなく、実際にやってみて、何が足りないのか、どうすればさらによくなるのかを考える。その姿に、今年度大切にしている「真実」の学びが表れていると感じました。

当日も、競技や表現、応援だけでなく、さまざまな場面で子どもたちの「よりよい姿」が見られました。最後まで力いっぱい走る姿、仲間のために声を出す姿、係の仕事に責任をもって取り組む姿。自分の役割だけでなく、周りの様子を見ながら行動する子どもの姿もありました。

何よりうれしかったのは、全校159人全員が参加できたことです。一人一人がそれぞれの場所で力を発揮し、みんなで運動会をつくり上げることができました。

結果は、優勝旗、応援トロフィーともに赤組が手にしました。

赤組団長は、「W優勝ができたのは、きつい練習の中でも赤組のみんながついてきてくれたから」と仲間への感謝を語りました。一方、白組団長は、「赤組にW優勝を取られてしまったけれど、白組は全員、最後まであきらめずに走っていた。楽しめる運動会だった」と振り返りました。

勝った赤組にも、惜しくも届かなかった白組にも、それぞれの「よりよい答え」がありました。両団長の言葉からは、勝敗だけではなく、ともに練習してきた仲間への思いや、やり遂げたことへの満足感が伝わってきました。

今年度は、育友会競技も加わり、仮装して参加してくださる方もいるなど、会場を大いに盛り上げていただきました。子どもたちだけでなく、保護者や地域の皆様も一緒になって運動会をつくってくださったことを、大変ありがたく感じています。

赤組も白組も、練習は決して楽なものではありませんでした。それでも最後には、「やってよかった」と思える運動会になりました。

「もっと」とよりよい答えを求め続けたからこそ、見えた景色があります。これからも、子どもたちが一つの答えで終わらず、考え、試し、また考えながら、自分なりのよりよい答えを見つけていくことを大切にしていきたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様には、準備や片づけ、温かい拍手と声援をはじめ、多くのご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。



感謝の思いを自分たちの手で

― 教育実習を終えて ―



10月16日、木下こころ先生が20日間の教育実習を終えました。

実習期間中に最も多く関わった4年生では、子どもたちが自分たちでお別れ会を企画しました。手紙や色紙を贈ったほか、音楽の時間に教わった「とんび」の2番を、こころ先生への思いを込めた替え歌にして届けました。

授業や運動会など、さまざまな場面でともに過ごした20日間。感謝の気持ちを、自分たちで考え、形にして伝える子どもたちの姿に成長を感じました。

こころ先生には、高瀬小学校での経験をこれからの学びにつなげ、教職への道を歩んでほしいと思います。

平和への願いをつないで

― 千羽鶴を長崎へ ―

10月16日、京町地区集会所から、平和への願いを込めた千羽鶴が学校に届けられました。この取組は、放課後こども教室に通う本校6年生の思いをきっかけに、地域の皆様や南部中学校の生徒の皆さんなどへと広がったものです。

10月29日からの修学旅行では、6年生が長崎平和記念公園を訪れ、この千羽鶴を奉納します。一人の思いから始まり、多くの方々の願いが重なった千羽鶴。地域の皆様の思いも一緒に長崎へ届けてほしいと思います。

本物の音楽にふれて

― 6年生 おでかけクラシックコンサート ―



10月19日、6年生を対象に「おでかけクラシックコンサート」が行われました。ソプラノとピアノの生の音色を間近で味わい、子どもたちも一緒に歌いながら、クラシック音楽の魅力にふれました。

教室いっぱいに響く歌声や、二つの旋律が重なって生まれるハーモニー。本物にふれることで、音楽の豊かさを体全体で感じる時間となりました。

楽しみにしていたふるさと祭り

― 第22回高瀬三世代ふるさと祭り ―

10月25日に予定されていた「第22回高瀬三世代ふるさと祭り」は、台風の接近に伴い、中止となりました。

子どもたちも、餅つき大会や、ソーラン・鼓笛の出演、的当てなどのゲームを楽しみにしていました。5年生が、もみまきから田植え、稲刈り、脱穀まで関わって育ててきたもち米も、餅つき大会で使われる予定でした。

祭りに向けては、7月から企画・実行委員の皆様を中心に、多くの方々が話合いや準備を重ねてくださいました。開催することはできませんでしたが、子どもたちや地域のために費やしてくださった時間や思いまでなくなるものではありません。

企画・実行委員の皆様をはじめ、準備に携わってくださった多くの皆様に、心より感謝申し上げます。

未来へ向けて

運動会で見つけた「もっと」という思い、実現できなかった祭りに向けて積み重ねられた準備、地域から託された平和への願い。それぞれの経験や思いは、そこで終わるものではなく、次の学びや活動へとつながっていきます。

これからも、子どもたちが人とのつながりを大切にしながら、よりよい答えを求めて歩んでいけるよう、教育活動を進めてまいります。